

岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成30年6月18 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ ダ イソフジ タショウガ ッコウジ ショボ ウサイキョウキ カイ
 団体名 第三藤田小学校区自主防災協議会
 所在地 [REDACTED]
 連絡先 [REDACTED]
 フリガナ [REDACTED]
 代表者 [REDACTED]

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	第三藤田小学校区自主防災協議会
事業実施小学校区・地区	第三藤田学区
事業実施回数	☒ 新規 ☐ 継続 回目 / 【 年度から】
課 題	※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。 第三藤田学区は干拓地であるため、大規模地震が起こると地盤沈下による交通遮断、津波による浸水、停電、断水等による長期間の孤立等、計り知れない被害の発生が想定される。 平成23年度から防災訓練を中心にさまざまな防災活動を行っており、地域住民の防災意識は少しずつ向上してきているが、学区内における防災リーダーの育成が不十分であり、その施策を講じるとともに災害時における自助・共助の体制を強化する必要がある。
事業の 目的	※事業を実施する「目的」を記載してください。 学区内の単位町内会別に防災リーダーを育成し、災害時の自助・共助の体制を強化することで、地域住民の防災意識の更なる向上を図り、安全・安心で持続可能な地域づくりを推進することを目的とする。



事業の内容	※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。 ①防災リーダー育成のため、学区内8単位町内会の役員を対象に神戸震災記念館の視察を行う。 ②災害時の自助・共助の体制強化につなげるため、高齢者、幼児、乳児等を含めた避難所生活体験及び避難所運営の訓練を実施する。 ③地域住民の更なる防災意識の向上を図るため、第三藤田学区の地域性を踏まえた防災講演会を実施する。
期待される成果・目標	※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで到達しておきたいか「目標」を記入してください。 単位町内会規模での防災リーダー育成や防災・避難訓練の積み重ねにより、より身近なコミュニティにおいて、高齢者を含めた住民同士の声かけや救助を行うことができるようになるなど、災害時の自助・共助の体制強化につながることを期待できる。
企画などの工夫	※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしぼったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。 平成23年度から初期消火、AED、ロープ結び、簡易担架作り、トイレ作り、けむり体験、はしご救助、宿泊訓練等さまざまな活動に取り組んできているが、実際の災害を肌で感じ、防災意識をより一層向上させる必要があるため、神戸震災記念館の視察を行う。また、各世代が集まる避難所運営・宿泊体験の訓練を実施する。
協働する団体等	※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。 老人福祉施設メディフル（施設職員が訓練に参加）
事業の情報公開	※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。 ①町内会を通じて、防災訓練等の開催案内を各戸へ配付する。 ②訓練等を実施後、防災新聞を作成し、訓練の状況等を記事にまとめ、各戸へ配付する。

学区・地区への広がり	※小学校区・地区より狭い範囲（単位町内会等）での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。
前年度からの見直し・拡充点	※継続事業で申請される場合は、前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したこと、改善・拡充ができなかった場合は、改善・拡充ができなかった理由を記載してください。
次年度以降の予定	※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。 ①次年度以後の活動計画 防災活動は継続して実施していくことが重要である。地域の特性を知り、防災リーダーを育成していくことで、自助・共助の体制強化につなげ、高齢者等地域住民が少しでも安心できる地域づくりに取り組みたい。 ②資金の確保について ☒ 次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐ () 年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策：
その他PRしたい点	これまで小学校体育館で宿泊訓練を2回実施しているが、高齢者、幼児、乳児にも参加してもらうことで、実際の避難時と同様に多様な世代が集まる避難所生活体験及び避難所運営を訓練に取り入れる。

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	執行役員会の開催（防災後援会、宿泊訓練等の打ち合わせ）
10月	20日 防災後援会（岡山理科大学客員研究員）
11月	上旬 避難所宿泊体験及び避難所運営の訓練実施
12月	執行役員会の開催（防災後援会等のふり返し、反省）
1月	執行役員会の開催（リーダー研修の打ち合わせ）
2月	神戸震災記念館リーダー研修の実施
3月	執行役員会の開催（リーダー研修のふり返し、反省）

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算 (決算見込可)	予 算	備 考
岡山市補助金		604,000	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金		6,000	
参加者負担金		45,000	リーダー研修参加者負担金 (@1,000×45 名)
協賛金		0	
寄付、他収入		100,000	都六区・錦六区連合町内会
計		755,000	

◆ 支 出

単位:円

費 目	前年度決算	予 算	備 考
消耗品費		90,000	展示用非常食、炊出調理器具、 食器類、コピー用紙、インク他
食糧費		55,000	研修時昼食代(@1,000×45)、会 議用お茶他
印刷製本費		85,000	会議資料、訓練案内、防災新 聞、マップ他
通信運搬費		50,000	案内ハガキ、切手他
使用料・賃借料		35,000	記念館入館料、駐車料金
原材料費		20,000	訓練用非常食、炊き出し材料
報償費		20,000	講師謝礼
保険料		50,000	イベント用傷害保険
旅費		350,000	記念館リーダー研修バス代
計		755,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	☒ 希望する	・	☐ 希望しない
-----------	--	---	--------------------------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

事業実施のための資金がないため、概算払を希望する

注①：前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・光熱水費・通信運搬費・広告料・手数料・
使用料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。